

Journal of Orthopaedic Science 2013; 18: 893-900.

Prevalence of lumbar spinal stenosis, using the diagnostic support tool, and correlated factors in Japan: a population-based study.

Yabuki S, Fukumori N, Takegami M, Onishi Y, Otani K, Sekiguchi M, Wakita T, Kikuchi S, Fukuhara S, Konno S.

腰部脊柱管狭窄（LSS）の日本における有病割合を調査した。40-79歳の日本住民の代表サンプル4,400名に質問紙調査を行った。LSS有病の推定は、LSSに関連する下肢症状の報告およびLSS診断サポートツールによって判定した。40-79歳の日本住民におけるLSSの推定有病割合は5.7%、推定有病者数は365万人であった。

LSSの有病に、高齢、糖尿病、泌尿器疾患、関節炎・骨折、および、うつ状態が関連していた。（平成21年度・日本整形外科学会プロジェクト研究事業）